

徳島市におけるエシカル消費の推進に係る取組みについて

	取組み事例	令和3年度実績	令和4年度実績
1	市と消費者庁及び県が製作した「てまえどり」を呼びかけるための商品棚用POP（店頭広告）の掲示を協力店舗にて実施し、食品ロスの削減に努めた。	なし	R4. 8. 11から徳島市内及び県内店舗へ順次展開
2	ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」のダウンロード促進や、徳島市ごみ分別ガイドを転入者の方々などに配布し、ごみ分別の啓発に努めた。	ごみ分別アプリダウンロード数 17,392人	ごみ分別アプリダウンロード数 21,323人 (R5. 3. 2現在)
3	徳島市エコステーションを常設運用することや、資源物の回収運動等を支援し、各資源物が正確に分別される仕組みが保てるように努めた。	資源物回収量 2,186 t	資源物回収量 1,227 t (R5. 3. 2現在)
4	フードマイレージ、バーチャルウォーターなどのエシカル消費に関する出前環境教室を学校等で行い啓発に努めた。	4回	3回
5	障害者優先調達推進法に基づき、本市における障害者就労施設等からの物品及び役務の調達の推進を図るための方針を定め、障害者就労施設等の受注の機会の増大を図った。	通年	通年
6	障害者の作成した作品の展示・即売をすることにより、日頃の成果を発表し市民の理解と意識の向上を図った。	なし（新型コロナウイルスの影響によりR2, 3年度は中止）	1回
7	障害者就労支援施設等が出店販売等を行う「ふれあいフェスタ」を開催し、障害者に対する理解を深めるとともに、障害者の自立支援を図った。	2回	2回
8	「とくしまIPPIN店」認定の募集・拡大を継続するとともに、市ホームページに掲載し、広報することで、地産地消の推進を図った。	159店舗	155店舗 (見込)
9	消費者月間として定めている5月にエシカル消費についての記事を広報とくしまに掲載し、啓発に努めた。	1回	1回
10	消費生活センターにおいて徳島市・石井町・神山町・佐那河内村在住の人（広域連携している）を対象に「エシカル消費と食品ロス」をテーマに講座を行い、啓発に努めた。	0回	1回
11	消費生活センターにおいて徳島市・石井町・神山町・佐那河内村在住の人（広域連携している）を対象に不要な布を使った「リフォーム講座」を行い、啓発に努めた。	2回	2回
12	消費生活センターにおいて家庭で眠っている家具や家庭用品等の不用品の再利用を目的に不用品活用銀行を行っている。	提供35件 申込39件 成立13件	提供41件 申込72件 成立21件 (R5. 2月末現在)